

住所：蕨市錦町 3-3-41  
Tel・Fax：048-442-4054  
Mail：nisi@city.warabi.saitama.jp

高齢者学級

ことぶき大学(さつき保育園とのむかしの遊び)



ことぶき大学16名と5～6歳児21名が参加。けん玉・コマ・お手玉などの遊びを通して交流を深めました。最後に、子どもたちからお歌のプレゼントがありました。

ことぶき大学公開講座

新春！  
初笑いをしましろう



日程：18日(火)  
開場：午後1時 開演：午後1時30分  
会場：集会室 参加費：無料  
内容：寄席 落語家：三遊亭 歌実  
対象：一般100名 整理券配布中

0・1・2ちゃんママ  
おしゃべり広場



子育ての情報交換やママ友を作りたい  
と思っている方!!ぜひお越しください。  
日時：24日(月)午前10時～11時30分  
会場：和室 対象：乳幼児親子  
内容：手遊び・紙芝居の読み聞かせ  
参加費：無料 持参：バスタオル  
※おもちゃ等、消毒しております。

錦町双子織夢工房  
公開講座



蕨の織物「双子織」を使って、あなた  
だけの名刺・定期入れを制作しよう。  
日時：2日15日(火)午前10時  
会場：集会室 対象：先着20名  
講師：中谷 忠男  
参加費：1000円  
申込み：11日(火)午前9時から  
参加費を添えて

魚の捌き方講座



魚を一から捌いて、調理してみよう。  
一流の料理人が捌き方をお教えます。  
日時：2日18日(金)午前10時  
会場：調理室 対象：先着8名(託児付)  
講師：元ホテルシェフ 佐藤 和久  
参加費：1000円  
持参：エプロン、三角巾、ペットボトルのキャップ  
(持帰り容器は準備します)  
申込み：11日(火)午前9時から  
参加費を添えて



## 「冒険遊び場」と知り合って・・・

外遊びを考える会「どろんこの王様」  
田上 朋子

### 「大人がまずは楽しむ」

先日、日本冒険遊び場づくり協会代表の関戸さんによる講演会『子育てが楽しくなる！？子どもの遊びと生きる力の関係』を聴く機会をいただきました。その中で、私が特に心に残ったキーワードが、「大人がまずは楽しむ」という事でした。

でも「楽しむ」って、簡単に言うけど意外に難しい…と感じています。だって、子育てがんばらなきゃいけない。迷惑かけないようにしないと。ちゃんとしないと。自分の事は後回しにして、あれもこれもしなくては…そうやって我を忘れて子育てに没頭していると、楽しむ余裕なんてないものです。そんな時、ちょっと幽体離脱？したつもりで、自分を俯瞰して見てみます。私、本当にそんなにがんばらなきゃいけない？迷惑かけちゃ駄目なの？いつもちゃんとしてなきゃいけない？たまにはちょっと子どもは二の次で、自分が楽しんじゃっても大丈夫かもよ？

子どもの遊びへの共感と理解は、自分自身の遊びへの共感と理解と繋がっています。自分が遊び、楽しむことをおろそかにしていたら、子どもの遊びを深く共感し理解することが難しくなりはしないでしょうか？…というか、自分が楽しめていなかったとき、子どもの遊びに理解や共感をしにくかった経験が私にはあります。

「楽しむ」って感情なので、言われてすぐ出来るものでもないですが、少しずつ自分を縛っている思い込みを緩めて、自分の遊びも、子どもの遊びも、解放していきたいなと思います。そして、安心して遊びを解放できる場として、プレーパークやけろっこぱーくを開催しています。

## 西公民館

### 年始の業務のお知らせ

【錦町連絡室(住民票(写)・印鑑登録証明書 各1通200円)】

受付：午前9時～12時

年始：1月4日(火)から

【行政サービス(粗大ゴミ収集券1枚550円・わらび郷土かるた1冊500円・二中夜間照明使用コイン1枚1,030円)】

受付：午前8時30分～午後5時15分

年始：1月4日(火)から

## けろっこぱーく

日時：11日(火) 午前10時～午後1時

対象：未就園児と保護者

※未就学児は保護者と一緒に参加

## プレーパーク

日時：15日(土) 午前10時～午後3時

対象：どなたでもOK!

内容：自分の発想で遊びを考える

会場：富士見公園

主催：外遊びを考える会「どろんこの王様」

共催：蕨市立西公民館



## ねえねえきいて

さつき保育園

3歳児 うさぎ組 鈴木 望奈美

### 「みんなで劇を頑張るぞ！」

「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。」子どもたちと新年の挨拶を覚え友達同士での言葉のやり取りを楽しみたいと思っています。

先月は感染症対策を踏まえクラス完全入れ替え制にして、年中・年長児が発表会を行いました。うさぎ組さんも劇のお客さんとして見ているうちに「やってみたい！」と声が挙がるようになりました。

やる気を伸ばしていけるようみんなが大好きな『大きなかぶ』を元に劇ごっこを始めました。かぶを2つ用意しそれぞれの役を2人ずつ選びました。20名のクラスで全員が行うには役が足りなかったので登場する動物の数を増やし、「何の動物がいいかな?」「並ぶ順番はどちらが大きいかな?」と想像しながら決めました。自分たちで動物の耳を切り取り、色を塗って作ることも楽しめました。衣装を身に着けるとやる気も上がり、待っているときは静かに待とうと頑張る姿や、大きな声で台詞を言おうとする姿もあり成長していたんだと感じました。「たくさん練習したら先生や他のクラスのお友だちに見てもらおうね!」と話していて「ドキドキするね!」とワクワクドキドキな子どもたちと劇ごっこを楽しんでいます。